

よもやま話 ちよつとみんなに 伝えたい話

副議長

山下 つきみ

小学生の手紙がきつかけで運転免許証を返納

これは先日、大阪で開催された関西川辺会に出席したときに来賓で出席されていた近畿枕崎会の会長さんとの話です。

「最近、家の整理をしていたら、一通の手紙が出てきたんです。

その手紙は、10年前に帰郷した際、空港からレンタカーで枕崎に向かう途中の国道225号線沿いで行われていた交通安全キャンペーンで、参加していた田代小学校の児童からもらったもの。当時小学1年生の女の子からもらった無事故の安全運転を願う手紙です。

こっち（関西）ではあまりないこの取り組みに感心して、しばらく大事にしていたんだけど、時が経っていつの間にか置き場所も忘れていました。読み直すとそのとき

の児童の顔や安全運転を願う思いがありありと記憶に蘇ってきたんですよ。

最近、高齢ドライバーの事故が増加しているじゃないですか、ニュースでもよく流れるし。それでね、私は72歳でまだ現役運転世代なんだと思いつつも、免許証の返納を決心したんです。

手紙をくれた子は今高校生くらいかな。山下さん知らない、知ってるわけじゃないよね。」

その女の子の情報が得られるかもしれないと期待していたのでしよう、会長さんはその手紙を持参されていました。知っているのも何も私は田代小学校区在住です。手紙を拝見し、その女の子がだれかすぐにわかりました。帰ってからその子に手紙の写しを見せ、話をする

と「覚えてる。嬉しい」と涙を流して喜んでくれました。こどもたちが参加した交通安全キャンペーン、そこで渡された手紙が免許を返納する決心のきっかけとなったという話。加害者も被害者も不幸になる交通事故がなくなりますように。

傍聴席から

6月定例会において、松山地区28人の方々が議会を傍聴されました。

松山地区 文化産業部長

若松 祐平

6月20日、松山地区28名で傍聴しました。

質疑答弁の中で、ふるさと納税が毎年多額の寄付が増えていることに驚きました。

ときに行政は市民のため、細かいところまで精査し、実行してください。また、議員の皆様も頑張ってください。皆様の頑張りが市民一人ひとりの幸せとなり、わが南九州市が少しでも活気と繁栄が戻るよう願っています。

松山小と松ヶ浦小の3年生17人が議会を体験

6月14日に松山小学校3年生12人と松ヶ浦小学校3年生2人が、校外学習で議会を体験しました。

議場でそれぞれ議員席に座った児童は、手を挙げて市役所の仕事について質問しました。

～議会を体験～



編集後記

知覧町下郡にある豊玉姫神社の六月灯に奉納された今年の水車からくりの演目は「花さかじいさん」である。六月灯は7月9日・10日に開催され、神事や踊りなどの演芸大会もあり、たくさんの人でにぎわった。

この水車からくりは江戸時代に始まり一時中断していたが、昭和54年に復活し今に至っている。10体から20体の人形が

水車の動力を利用してリアルに動く。また、舞台下を見ると木で作られた歯車や滑車、紐が複雑に絡み、寸分の狂いもない動きに感心させられた。

（鮫島）

広報編集委員会

委員長 鮫島 信行
副委員長 日置 友幸
委員 米満 孝二
大久保太智
内園知恵子
松久保正毅



◎発行：鹿児島県南九州市議会
TEL 0993(83)2511

◎編集：議会広報編集委員会
FAX 0993(83)4658

◎発行責任者：伊瀬知 正人
ホームページ <http://www.city.minamikyushu.lg.jp>